

各地区業況アンケート結果（30年8月調査分）

（30年8月27日）

全国鉄鋼販売業連合会

8月23日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ81名の回答があり（回答率55.5%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 5割強の企業が前年同月比増

問1】貴社の7月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	25	18	26	9	3	81	75
比率	31%	22%	32%	11%	4%	DI+65	DI+35
売上金額/前年同月比	32	23	20	4	2	81	75
比率	40%	28%	25%	5%	2%	DI+98	DI+71

2. 74%が黒字

問2】貴社の7月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	26	34	16	3	2	81	75
比率	32%	42%	20%	4%	2%	DI+98	DI+92

3. 仲間取引がやや減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て8月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	2	6	37	9		54	+2	+2
民間建設向	1	20	39	8		68	+21	+37
自動車向		7	29	2	1	39	+8	+11
その他需要家向	1	10	45	11	2	69	-4	+23
仲間取引		10	39	20	1	70	-17	±0
計	4	53	189	50	4	300	+1	+16
比率	1%	18%	63%	17%	1%			

4. 秋需に期待感高まる

問4】貴社における向う9月から11月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	10	47	20	2		79	74
比率	13%	60%	25%	2%		DI+82	DI+70

5. コラム更に不足ぎみに

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	品種別	A	B	C	D	E		8月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-29	-20	-19	-11	10	8	-4	-17	0	0	-7	7	鉄筋用丸鋼		3	25	2	1	31	-3
-13	-13	-13	-6	3	-4	7	10	10	10	13	13	構造用丸鋼		2	29	2		33	0
-9	-5	-9	-3	3	0	0	-10	-3	-3	-6	0	平角鋼			32	3		35	-9
0	15	22	29	38	25	22	8	-6	-3	10	9	H形鋼		5	26	2		33	9
-13	0	21	32	54	29	48	11	33	38	59	67	コラム	3	14	7	1		25	76
-13	0	-8	-6	11	19	3	0	3	-6	0	-9	小形山形鋼			33	3		36	-8
-16	-5	-5	-5	6	-7	0	-13	-18	-12	-3	-14	中形山形鋼			32	4		36	-11
-5	3	-3	0	11	0	-3	-3	0	-9	-3	-6	溝形鋼		1	29	5		35	-11
-13	-10	-10	3	0	4	-3	-16	-15	-14	-11	-3	軽量形鋼C形		2	30	2		34	0
-5	-18	-14	-15	5	-5	-9	-16	-16	-15	-10	-11	軽量形鋼広巾			20	2		22	-9
3	23	0	29	22	44	41	32	4	14	13	8	冷延薄板	1		24	1		26	4
-9	11	14	39	46	61	50	31	27	23	12	11	熱延薄板		2	28	3		33	-3
-6	35	31	47	53	73	59	50	40	33	27	14	表面処理鋼板		3	26	2		31	3
14	45	31	64	69	76	80	52	32	25	18	11	酸洗鋼板		1	30	2		33	-3
-5	10	10	46	53	76	55	24	21	19	16	7	中板	1	2	35	2		40	5
-19	-5	3	29	21	18	21	8	-6	14	14	10	厚板	2	8	31	2		43	23
-18	0	5	17	0	-7	6	-6	0	13	0	0	極厚板	1	1	16	1		19	11
-9	-6	3	20	6	-4	3	-7	3	-10	-3	3	縞板		2	31	1		34	3
-14	-15	-3	0	3	7	0	-12	-11	-5	-12	0	中径角		3	33	6		42	-7
-13	-16	5	0	8	-3	3	-9	-8	-8	-6	10	ガス管黒		5	34	4		43	2
-18	-20	-3	3	3	-3	-3	-14	-6	-8	-12	3	構造用鋼管		3	35	4		42	-2
-10	1	3	15	21	22	18	5	4	4	5	5	計	8	57	586	54	1	706	2

6. 秋需に向け価格転嫁に努める

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	丸棒市況は高止まっている。スクラップ、副資材の状況によっては盆明けに更なる値上げが予想される。
	B	荷動きはやや悪い。利益率が低下してきている。
	C	市況面では強含みを維持しているが、実商いが盆休暇、夏季休暇のため停滞している。段階的に唱えをアップしているが、多くの品種で積み残しがあり、引続き転嫁しなければならない。
東北	A	年度末まで加工先は一杯で、新たな加工先が見当たらない状況である。材料もBCPや厚板で納期が見えないものもあり、総体的に厳しい状況である。
	B	丸棒の出荷は好調。新規受注物件も増えている。延期になった物件が数件ある。
	C	建築は好調、土木は減っているがまだある。価格転嫁は徐々に行っているが、口銭確保は難航している。
	D	品物の動きが活発になってきた。H形鋼、コラム、C形鋼、角パイプ、鋼板の一次加工が忙しい。BHが間に合わない。
	E	メーカーが値上げしたが、すぐに決まる案件は少なくゼネコンは様子見となっている。8月以降は入札物件の結果が出てくるか。デリバリーは厳しくなっている。
新潟	A	ファブはフル稼働でMグレードを中心に年末から年明けまで受注しており、物によっては手配が難しい品種もある。鉄骨の短納期物件は全く引受け場所がない。
	B	建築中心に動きは継続している。全体的な動きは見られるものの単価、納期の問題は残っている。単価改善に引続き傾注している。
	C	メーカーの追加値上げもあるが、ユーザーへの価格転嫁は思うようにいかず各社我慢の状態か。鋼種による市中在庫のばらつきが大きい。
	D	価格転嫁が急がれる。
	E	特に悪い業種は見当たらないが、何故か荷動きはそれほどでもない。建機、自動車の支給材の賃加工は相変わらず超繁忙である。
	F	ようやく需要が出てきた。形鋼、切板の加工販売は100%超稼働。高炉メーカーは非常にタイトとなっており、今後、供給面が問題になりそうである。
	G	暖房機関連の季節商品や建築需要は増加傾向。トラックが堅調で、土木含め秋需に期待している。建築関連のロールがタイト化しており、手配に苦慮する場面が見られる。
神奈川	A	7月に入り、全体的に需要動向は良い。案件も急ぎ物が目立ち、加工付きの引合いが多く感じられる。
	B	高炉の更なる値上げもあるが、数量カットなどの縛りも聴こえてくる。足元、タイト感はないが、某高炉メーカーの納期が後ろにずれてきており、在庫には充分な注意が必要である。需要動向は前月並みで推移している。
	C	一次加工の依頼が目立つ。受注するためには納期対応が必要になっている。短納期でくる引合いは出来るものは素材対応し、需要家との協力をしながら取りこぼしのないようにしている。
東京	A	(鋼管) 4~6月停滞していたメーカー値上げの転嫁が7月から再び進捗し始めた。

東京	B	表面処理鋼板は高炉メーカーの更なる値上げを受けて採算が悪化している。需給バランスも市中で言われる過剰感はなく均衡状態である。採算を合わせるための値上げは「まったなし」の所まできているので実施していく。秋口のユーザー需要に期待して、手持ち在庫を大切に売っていきたい。
	C	8月はユーザーの夏休みがあり、稼働日減の関係で販売量も減少する
	D	店売りは先月より微増だが、実感として新規の引合いは少なく動きも良くない。
	E	(酸洗鋼板) 採算改善に努めているが、価格転嫁できていない。需要も出始めたように思うが、競合で価格の探り合いの状況。店売りの環境改善に向け尽力していく。
	F	(表面処理鋼板) 売上は数量、金額とも前年同月比5%減。タイト感も引合いもない。空中戦、支給材シフトなど構造変化のスピードが速まっている。
	G	(厚板) メーカーのタイト感がやや出てきて引合いも少しずつ増えてきているが、旺盛と言えるまでには至っていない。
	H	(鋼管) 例年8月に比べ出荷量は増加傾向である。在庫もタイト化に向かっており、価格転嫁を進めている。
	I	長い夏休みが終り、状況は好転し引合いは活発化している。調達も数件あたれば玉の確保はできる。酸洗材に荷余り感がある。
	静岡	A
B		建築関連はファブ、一次、二次加工先の状況に大きな変化はなく、忙しい状況が続いている。周辺地域で加工先がなく、納期を間に合わせるため遠方の紹介先への下請依頼が増えている。BCRコラムはサイズに関係なくタイトになりつつある。鋼板は高炉メーカーからの入荷が非常に遅れているが、需要も盛上らず市中のタイト感はない。
石川	A	コラムでサイズにより入手難のものが出ている。建築需要は変わらず繁忙を極めているもののゼネコンの指値が厳しく難儀している。
	B	石川県内の求人倍率は依然として1.99~2.0倍で全国5~6位のランクである。特にモノづくりへの求人倍率は3~4倍で極端に大きい。休日と残業は取りにくい状態である。(特に外注、下請業者) 鋼材販売業者も毎週土曜出勤せざるを得ない。盆休みも返上しているユーザーもある。
富山		中小物件も増加し、全体的に仕事量が増えつつあるも暑さも工場稼働も低下し、納期遅れが目立ってきたが、文句を言う人は少ない。
岐阜	A	ボルト類が不足し、建て方が遅れているという話をよく聞く。材料は在庫確認してから販売するが工場請負は資材不足が不安である。
	B	建築関連ではBCRコラムとH形鋼の一次加工の納期に時間が掛かっている。産業機械などは若干の仕事量のバラツキが見受けられる。運送コスト上昇もしている状況。

愛知	A	8月も動きは良い。ただ、営業日数が少ないので数字はダウンするだろう。値上げ転嫁が難しい状況である。他社の安売りが大きな原因である。加工品の短納期に頭が痛い。
	B	依然として斑模様が続いている。盆休み以降に期待している。自動車関係はそこそこの状態を維持しており、需給は悪くならない。しかし、価格は弱い。秋に向けて良い話もあり期待している。
	C	設備は出ているので、形鋼、鋼板の出荷は多くなっているが、競争がきつく価格転嫁が遅れている。鉄骨は好調でRグレードも3ヶ月程度の受注をしている。鉄筋は新規引合いが少なく安値を聞く。
	D	集購受注は大幅減で予告なく行われた。安定供給は安定受注がなければできない。単価の改定、受注の安定を真剣に考えてほしい。全体の荷動きは悪くないが、自動車向けの単価が決まらず市況に悪影響を及ぼしている。
三重		本日は8月1日だが、盆休みを前に荷動きが良い。一次加工は外注を含め満杯で、お盆前の納品は無理となった。H形鋼価格の値上げの声はトーンが落ちてきた。
大阪	A	荷動きは販売価格を押し上げる程の迫力はない。暫くはこのような状態が続くと思われるが、10月、11月の需要期までの辛抱が必要である。
	B	中小物件中心ながら、盆休み前後から着工件数が増えてきた。鉄骨基礎、宅地造成などの物件を中心に動きが出てきた。一方、暫く動きがなかった公共土木工事も、ここへきて着工案件が出展されてきている。なんとなく秋需という雰囲気となってきたが、需要動向としては今一步迫力に欠ける感じである。
	C	(鋼管) 切断加工の動きはそこそこだが、仲間売りの定尺の動きが良くない。
岡山		大雨災害の影響はまだ見えず、復興で材料が出るかも分からない。お客様の体制が整い次第見えてくるのではないかな。某自動車向けは不足品がなく生産に支障が出ないと思う。
香川		安値は切り上がりつつあるが、上値が重い状況である。H形鋼、一般形鋼は採算から言えばもう少し値上げが必要である。9月以降、土木を含め秋需に期待している。
北九州	A	7月は在庫販売が低調。相場も上値が伸びず、瞬間的に値上りした品種も元に戻っている。局地的には売上確保のため値下げも見受けられる。人手不足、酷暑で現場、工場とも生産が上がらず、不足分の引合いは少ない。空中戦で需給はミートしている感じである。メーカーの入荷も順調で在庫は増加している。加工の引合いは多く、納期が合えば話は前進するが、加工先の確保が非常に難しい。
	B	荷動きは横ばいだが、倉出しはそこそこ忙しい。直送案件、ファブ向けの動きは遅く思われる。在庫玉も適正水準にて手当てに事欠くことがない。主要電炉メーカーの販売価格にもバラつきがあり、市況販売価格に上伸力はない。